

やり投げ北口

日本、海外で最多18個



レスリング元木も

PARIS
2024
パリ五輪

女子62kg級で金メダルを獲得した元木
咲良(パリ) (共同) 〓右
女子やり投げで優勝し、表彰式で金メ
ダルを手に笑顔の北口榛花(パリ郊外
(共同) 〓左

【パリ共同】パリ五輪第16日の10日、陸上女子やり投げで北口榛花(26)が65kg級で優勝し、マラソン以外の陸上女子種目で日本勢初の金メダルを獲得した。レスリング女子62kg級初出場の元木咲良(22)も育英大助手も金メダルを獲得した。日本勢の金メダルは計18個、メダル総数は43個となり、いずれも海外開催の五輪での最多記録を更新した。これまでの海外五輪での「金」の最多は2004年アテネ大会の16個だった。

北口は昨年の世界選手権の野口みずき以来5大会との2冠。陸上では04年アテネ五輪の男子ハンマー投げの室伏広治、女子マラソンの野口みずき以来5大会ぶりの「金」となった。北口は北海道出身。初出場の21年東京五輪は日本勢57年ぶりの決勝に進出したが、けがの影響で12位。チェコを拠点に実力を伸ばし、世界に飛躍した。

元木は埼玉県出身。組手やタックルなどに優れた攻撃で、21年東京五輪女王の恒村友香子(旧姓川井)らを破って代表になった。昨年の世界選手権2位。父で00年シドニー五輪男子グレコローマンスタイル63kg級代表の康年さんと2代出場となり、父が届かなかった頂点に立った。